

平成22年9月議会での一般質問

私は、初登壇以来16回目となる一般質問を行いましたので、その概要をお知らせします。今回も「全市的な課題」と「地域の課題」について厳しく執行部を追及するとともに、多くのアイデアを交えた提案をしました。

ふじやま 英美 検索
ホームページにアクセス



熊本城の利活用問題

桜の馬場地区で観光交流施設の「城彩苑」の建設が進められているが、昨年3月議会で熊本城へのエントランスエレベーター予算を否決したのは、もっと時間をかけて魅力あるプランを出して欲しいというのが本意であった。その後、我が会派として先例市を視察した結果、保存を主眼とした文化財であっても大胆な発想で活用してもいいのではないかとこの感触を得た。

したがって私なりの提案であるが、新たに城彩苑から天守閣前まで地下道を作り、なだらかなエスカレーターを通し、その要所要所には広々としたオープンスペースを設け、甲冑や武具を展示し、時代衣装をまとった職員が対応するなど、あたかも時代博物館のような機能を持たせることはどうか？このように熊本城を文化財として保護することに偏ることなく、観光客や市民が期待する利活用を図ることが必要ではないか？

【市長答弁】熊本城を貴重な文化遺産として保存していくとともに、本市最大の観光資源として利活用を図っていくことが重要である。新幹線全線開通後の経済波及効果を見据え、熊本城の更なる魅力発信を図るため、今後、昨年発足させた熊本城保存活用委員会の議論を踏まえ、熊本城にふさわしい利活用を考えていく。

市電問題

市電通りの県道にイチョウの街路樹があり、時期が来れば市民を楽しませてくれる。しかし、黄葉のころとなると、市電にとっては安全や定時運行の障害となる。したがって毎年2月頃に実施されている剪定は落葉を迎える11月末に実施できないか？また、新水前寺駅がJR豊肥線と市電の結節点として改良工事が進んでいるが、ここを始発とした市電ダイヤを組むことができないか？

また、市電の東部延伸が進まない中、熊本駅前サイドリザベーションと軌道緑化には数億円もの巨費が投下されたが、どの程度の利用客を見込んでいるのか？

【市長答弁】田崎橋電停の1日の利用客は500名で、健軍電停の利用客は5,500人であり、新幹線の開業により本市の陸の玄関口となることから取り組んだものである。

【局長答弁】剪定の時期については、県の道路管理者と協議する。また、新水前寺駅を始発としたダイヤについては、来年に大幅なダイヤ改正を予定しており、その中で検討する。

ゴミ問題

家庭ゴミ有料化後のゴミ減量の推移はどうか？また、有料化を決定した環境水道委員会での①生ゴミの再資源化②個別収集③プラスチック製容器包装のリサイクル④将来を見据えたゴミ減量・リサイクルに向けた施策の推進の4点についての申し入れについて、その後の取り組み状況は？

【局長答弁】ゴミ減量はおおむね順調に進んでおり、平成14年度比20%減量は達成できる。生ゴミの再資源化は、生ゴミ処理機の普及や家畜排泄物と合わせた再資源化等について検討する。個別収集については、これまでモデル調査を実施し、減量効果がある一方で収集時間や作業量が増加することが判った。

今後、費用対効果や収集の効率性など総合的に勘案していく。プラスチック製容器包装のリサイクルは22年10月から本格実施する。総合的な施策の推進については、策定中の次期ゴミ処理基本計画の中で、ゴミの発生抑制、再使用、再生利用等について長期的視点で検討し、方向性を示していく。

国保問題

景気低迷による所得減少で国保の保険料収入が減少するなど、国保運営が厳しい中であって、この健全化を図るためには保険料収入を増やし、医療給付費を抑えることが大切である。この医療給付費を抑えるために、これまでどのように取り組んできたのか？

【局長答弁】

これまで重大な病気を未然に防ぐために生活習慣病対策に取り組んできたが、特定検診制度が始まったので受診率向上のための周知に努めている。

また早期発見のために30歳代健康診査を市独自に実施し、また、平成21年度からは特定検診と同時にガン検診もできるようにした。

また本市では、人工透析患者が全国平均の1.5倍もあるため、慢性腎臓病の受診を勧奨している。また、ジェネリック医薬品の普及を図っている。

市営住宅問題

本市は市営住宅家賃の長期滞納者に対して家賃の支払いと住宅の明け渡しを求める裁判を提訴したが、現在の入居者の20%に当たる滞納問題にどのように取り組んでいくのか？また市内の民間の賃貸住宅の空き家が増えつつあるが、この解決のためには、市営住宅の新規建設を抑制するだけでなく、老朽化した市営住宅の建て替えも抑制すべきではないか？

【局長答弁】これまでも徴収員による納付指導や訪問徴収をしてきたことにより、年々徴収率は上がってきている。今後は、これらを検証し、さらに努力する。

また、第2次住宅マスタープランで建設中心から管理重視に政策転換したが、今後は全体的なコスト削減のために、老朽化した住宅は予防保全的な維持管理に努めていくこととする。

職員の育成

九州新幹線の全線開通にあわせて熊本城の利活用策が進められているが、その一方で現に熊本市に住む私達のために、市電を便利なものとし、膨大な財政負担となっているゴミ、国保、市営住宅問題に取り組んでいくことも大切であると考え今回質問したものである。しかしながら、それぞれに対する答弁に夢がなく、全庁的な視野に欠け、言訳的であったのは「職員のやる気のなさ」に原因しているのではないかと。したがって、今後、政令市に委ねられる多くの事務と財源を真に市民のためにフルに使いこなせるような職員を育成していくことが大切なのではないか？

【市長答弁】これからの熊本市のために、人材の育成とこれを支える組織の在り方も重要であると考え、現在、人材育成基本方針に掲げる職員像を念頭に、市町村アカデミーで政策形成型研修に職員を派遣したり、職種に応じた職員研修など、様々な方法で人材の育成に努めている。今まさに熊本市の大きな転換期を迎え、すべての職員が市政の方向をしっかりと把握し、自らがどうあるべきかを考えていけるような風通しのいい組織づくりに向け、私自身が先頭に立って取り組んでいく。

地域の課題

□イオンの出店計画跡地の開発 私達は開発に大きな希望を抱いているが、一昨年6月に農地法が改正されて当該地区の農地転用ができなくなり、開発に大きな支障が出るのではないかと考えているが、この件についてどのように捉えているのか？**【農業委員会会長答弁】**いろいろ勉強して、事務局と相談しながらやる。**【局長答弁】**農地転用は最終的には農政局の判断となるが、農業委員会と相談し、開発可能な余地はあるのではないかと認識している。

□市民協働による公共施設の管理 秋津地区の鶯川や秋津3丁目公園などの公共施設では、地域の住民の方々による草刈り等が実施され、市の直営と比べてはるかに手が届き、かつ、安価で済むことが判った。これこそ市民協働の基本であると考え、更に作業内容を広げることや全市的に展開していくことが大切であると考えているが、このことについてどう捉えるか？**【局長答弁】**秋津の取り組みは市民協働として大変に良い事例である。今後、様々な事業を協働の考え方でマニュアルとして整理し、市民協働を進めていく。また今年度、熊本市公園協働地域委託事業をスタートさせ、すべての自治会に呼びかけたところであり、今後は委託業務内容の充実や各校区への拡大を図っていきたい。

□県立盲学校前の交差点の改良工事 工事の進捗状況はどうか？**【局長答弁】**事業の進捗率は21年度末現在で84%であり、現在は関係機関等との最終的な協議を終えたところであり、本年度末までには完成させたい。